

## 教科別授業改善推進プラン（体育科）

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・得意な児童が手本を示して他の児童が見ることにより、自分の動きの技術・技能の向上に役立っている児童が見られた。
- ・2～6人などのグループで活動することで、お互いを励まし合ったり教え合ったりして向上しようとする意識が増えてきた。

#### (2) 課題

- ・体の使い方を理解していない、基礎感覚が少ないと感じる。
- ・技術・技能向上に向けた練習方法は、提示されて選択はできるが自分なりの工夫が見られない。

### 2 重点課題

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敏捷性を高めること（体力テストの結果より、反復横跳びの数値が低い）。</li> <li>・遊び方や動きを工夫すること。</li> <li>・進んでいろいろな運動遊びに取り組もうとしていること。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俊敏性を向上させること。</li> <li>・めあてを意識して楽しく運動に取り組むこと。</li> <li>・自信をもち、いろいろな動きに取り組むこと。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俊敏性を向上させること。</li> <li>・めあてや技のポイントを意識して運動に取り組むこと。</li> <li>・ルールを守って運動し、ゲームの勝敗を受け入れること。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俊敏性を向上させること。</li> <li>・めあてや技のポイントを意識して運動に取り組むこと。</li> <li>・運動する児童としない児童の二極化していること。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動経験や練習経験によって、運動技能の偏りが大きくみられること。</li> <li>・チーム作戦や問題解決のために協働的に学び、意見を互いに言い合うこと。</li> <li>・自ら進んで学習課題や技能の習得に取り組むこと。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投力を向上させること。</li> <li>・技能を高めたり、チームの作戦を考えたりするために、自分の考えを伝い合いながら協働的に学ぶこと。</li> <li>・苦手な種目に自ら進んで取り組み習得すること。</li> </ul>

### 3 授業改善策

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主運動の前に、鬼遊びやゲーム活動を取り入れ、俊敏性の向上を図る。</li> <li>・友達のよいところを見つけたり、楽しい遊び方を伝える時間を取る。</li> <li>・運動遊びの決まりを守り、進んでいろいろな動きに取り組むことができるようにする。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主運動の前に、俊敏性を高める運動遊びを取り入れる。</li> <li>・めあてを意識して活動できたことを振り返る時間を取る。</li> <li>・学習カードや掲示物を活用し、いろいろな運動に取り組みせ運動の楽しさを味わわせる。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主運動の前に、補助運動と俊敏性を高めるジグザグ走や鬼ごっこ等を取り入れる。</li> <li>・見本動画や学習カードでポイントを見たり、自分の動きを撮影したりしてイメージをもちやすくする。</li> <li>・ルールを徹底させたり、勝敗を受け入れていた児童やそれ以外で活躍した児童を褒めたりして意識づけする。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動にて俊敏性を高める活動を多く取り入れる。（タッチコーンや5秒間走等）</li> <li>・めあてやポイントを明確に提示する。自身の動きを振り返られるように動画撮影をする。</li> <li>・体育の学習で運動の楽しさに触れられるようにする。ロング昼休みを活用して全員で運動する時間を設ける。</li> </ul>

5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験の少ない運動については、技能に必要な基礎感覚作りの時間を継続的に取り入れて、課題意識をもたせて運動を行う。</li> <li>・各領域の授業の中で、個人の目標を設定する場をつくる。それぞれの目標を意識した学習の場を選ぶ。(スモールステップ)</li> <li>・タブレット端末や掲示物で運動のポイントを視覚的に分かりやすく例示する。</li> <li>・体力テストの結果より、反復横跳び(俊敏性向上)やボールを投げる運動を取り入れる。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを扱うときに、足の踏み込み、腕の振り、腰のひねり方などのフォームを確認する。</li> <li>・自分たちが運動する姿を動画に撮り、分析する。その動画を見て、自分の目標や振り返りに活用し、練習方法を考える。</li> <li>・自分の能力に合わせて難易度を選択することができる課題の設定を行う。</li> </ul>
全学年 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きのポイントが分かる資料や映像資料を提示し、視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・運動時間の確保として、補助運動、主運動含めて30分以上確保する。</li> <li>・ルールやマナーを守り、友達を称賛している児童を全体で共有する時間や振り返りで紹介し、他の児童への見本となるようにする。</li> <li>・休み時間が校庭割り当ての日は、外で遊ばせる。</li> </ul>